

No.345

2018

6/11



はちおうじ

JR東労組
八王子地本
八王子地本
ホームページ
「東労組八王子」で検索



JR東労組
申第26号

2018年度夏季手当に関する申し入れ 第2回団体交渉開催

現場の奮闘を堂々と主張!!

JR東労組は6月7日、夏季手当に関する第2回団体交渉を開催しました。

【JR東労組】

2017年度の期末決算、連結・単体ともに増収増益、通期の業績予想をすべて超えるものだった。2018年度の通期の業績予想も増収を見込んでいる。増収は現場社員の奮闘の成果である。

期末手当、そんな色ないと言うが、私たちの立場からすれば遺憾であると思わざるを得ない。人材の確保・育成は極めて重要であり、人への投資は必要不可欠だ。

要求に応える体力は十分ある。日本一の鉄道会社として経済の好循環という社会的役割・責務を果たすため満額回答すべき。

次期株主配当は中間配当70円→75円含め150円とする予定、株主だけ優遇した利益配分と映る。

社員数が58,846人となり、平均賃金も減少している。一方で労働生産性付加価値は増加している。JR東日本の生産性は大企業平均を遥かに超える高水準といえる。

内部留保は2倍に増え、支払い能力は十分にある。

今回の要求、3.1ヶ月プラス5万円要求。昨年よりも決算は良いのに要求は昨年と同じ。何としても満額回答を求める決意と受け止めて頂きたい。5万円定額要求は中間層と上位職および年齢が高い人との格差を少しでも是正し、公平感・納得感を得てもらうためだ。組合員が実感できる回答を頂きたい。

現場にもっと思いを馳せて頂きたい。全社一丸となってやってきた結果の業績であり、努力の基に今の結果がある。

【JR東日本会社】

昨年2.91ヶ月と世の中の企業と比べても遜色ない高い水準。

H27年度決算は昨年度を超えた。しかし、H4年度には達しておらず、東日本大震災、リーマンショックあたりで下がった。高い・低いの評価はあるがH23年度で年間5.38…H26年度5.96、H27年度で6.07、H28年度で6.09と業績に対応して多くしている。

会社をさらに発展させていくためには人への投資は必要。賃金水準を高めていく事は人への投資の一つ。

昨年JR東海6.05に対して当社は6.09だった。当社の社会的発展と状況に相応しい支給額を示してきた。

インバウンド・外国人対応など駅で対応して頂いている。アプリなど会社も様々工夫している。事業環境の変化の中仕事をして頂いている。その反映が期末手当になる。

確かに大企業を上回る労働生産性と認識している。

内部留保はキャッシュでなく、投資そのもの。安全や成長のための戦略的投資など活用して維持発展していく。

モチベーションを上げるために幅広くやると運賃引き下げなど様々な意見を頂く。安全・サービス確保のため社員のモチベーション向上は重要。しかし事業者として1日1700万人のお客様も見なければならない。

期末手当の判断は直近の業績、営業利益を考慮する。今回は増益だが昨年の下がりからすると三分の一しか戻せていない。



労使の主張は真っ向対立!! 職場からのたたかいで 要求満額獲得を目指そう!